



さわやか ジャーナル



11月臨時会 12月定例会

ハイライト

12月定例会

- ・第82号 コンビニ交付がスマホで可能に……
- ・第86号 医療費助成が高校生・精神障がい者に拡大……

可決

◀ P10
◀ P7

12月定例会

補正予算

- 下田まちづくりセンター大規模修繕 △2億1,266万2千円
- 道路維持補修費 2,500万円増額
- 給食センター運営事業 4,936万1千円増額
- 住民税非課税世帯給付金 3億2,297万1千円を追加

まを
きれいに!

年間1億8,300万円

近隣地寄附をいただいたため改修を一旦見直し

令和2年度の3倍以上!

非課税世帯に7万円

賄材料費高騰のため

◀ P7
◀ P7
◀ P7
◀ P7

11月臨時会

11月臨時会

補正予算

- ・議長に上野顕介議員、副議長に森すなお議員
- ・第53号 湖南省立図書館条例の一部を改正する条例の制定について……
- ・第54号 湖南省文化ホール条例の一部を改正する条例の制定について……

否決

否決

◀ P6
◀ P9
◀ P6
◀ P9

工事遅れのため

本年度予算の来年度への繰越です!

- 石部駅周辺整備事業 繰越明許費の設定 3億4,121万8千円

◀ P6

一般質問一覧

① 業務継続性確保のための非常用電源設置を！ 細川ゆかり ◀P12	② 住民自治の第一歩！「知る」と「関わる」 中土翔太 ◀P13	③ 文化の振興と石部文化ホールについて 赤祖父裕美 ◀P13	④ 带状疱疹・緑内障は早期発見の努力を 副田悦子 ◀P14	⑤ 思いやりのあるまちづくりを目指して 大島正秀 ◀P14	⑥ まちの活性化について 望月卓 ◀P15	⑦ 災害対策の備えについて 永田誠治 ◀P15	
⑧ 誰もが利用しなくなる図書館サービスの充実 松井けい子 ◀P16	⑨ 医療施設・スポーツ施設・道路管理の充実!! 堀田繁樹 ◀P16	⑩ 公共施設等総合管理計画について 奥村幹郎 ◀P17	⑪ 菩提寺付近の交通・水害の問題について 川波忠臣 ◀P17	⑫ ごみステーションの設置、維持管理!! 森すなお ◀P18	⑬ 新年度の予算編成に向けて 加藤貞一郎 ◀P18	⑭ 子ども居場所づくり・道路整備について 藤川みゆき ◀P19	⑮ 戦没者慰霊碑(忠魂碑)の見守りについて 松原栄樹 ◀P19

湖南省議会の副議長選挙について

「立候補した議員ではなく立候補していない議員が当選した」という副議長選挙の事実関係を市民の皆さまにお知らせいたします。

○法律には正副議長選挙への立候補という制度はなく投票または指名推選しかありません。

湖南省議会では、議会の公開性を高めるため、希望者が立候補の意思表明をする場合、本会議ではなく法律に抵触しない休憩中に設けています。その休憩後に議会を再開して選挙(投票or指名推選)を行うこととなります。これは全国の市どもも同じで、なかには立候補の意思表明の場を取り入れていない市もあります。

○立候補しない議員が当選するということ

議会の選挙は、立候補者から選ぶ一般選挙(市議会議員選挙等)と異なり、正副議長経験者や新人議員を含めた全議員が候補者となるので、立候補した議員を含め全議員の中から相応しいと思う議員に投票するという、議員間での信認による決定が法律による定めです。

○指名推選の方法で選挙を行うということ

指名推選の方法は、会派代表者会議(全会派代表者で協議する場合)、議会運営委員会(議会運営を協議する場合)で決定し、その後の議員全員協議会(全議員の協議の場合)で報告するとともに、その議事進行については、法律の規定どおり、第1ステップ「指名推選の方法に異議がないこと」、第2ステップ「指名を行う者に異議がないこと」、第3ステップ「指名された者に異議がないこと」

との議事進行について資料を基に全議員が確認しました。

このような議事進行については、議会運営委員会が決定した内容に基づいて議会事務局が作成した議長口述書に沿って行われます。

○指名推選への異議について

議会の公開性・透明性を高めるため、立候補者の氏名だけでなく、指名推選で「指名される者」の氏名が出る第3ステップの時点で「異議」を唱え投票に移行するという議事進行予定でした。しかし「指名される者」の氏名が出る前の第1ステップで異議ありという声が上がったため、事務局職員が発言者に確認したところ「発言のタイミングを間違ってしまった」ということでした。そこで全国市議会議長会に「異議あり」の発言訂正が可能か確認したところ、「できない」という回答でしたので、法律に従い、そのまま投票へ移行したため、指名推選による者の氏名が出ない中での投票になってしまいました。

○最後に

二元代表制の一翼を担う議会がその機能を発揮するために、条件が合えばできるだけ指名推選による選挙を採用しており、最近10年間のほとんどの議長選挙と複数回の副議長選挙で指名推選の選挙を行っています。

湖南省議会では、議会の公開性(立候補)と法律遵守(投票or指名推選)を両立しながら、市民の皆様に分かりやすい議会運営をめざし、全議員の同意を得て進めてまいりました。

一部の報道により、市民の皆様误解を与えるような議会運営となりましたが、今後とも開かれた議会、市民の皆様身近な議会運営に努めてまいります。

新 議会構成が決まりました

就任のごあいさつ



第11代湖南市議会副議長
森 す なお

この度、多くの議員諸氏のご推挙により副議長に就任しました森でございます。

地方自治法に規定されている「議長に事故があるときや欠けたときに、議長の職務を行う」との副議長の職責を果たすため、議長や議会運営委員会委員長職を務めてきた経験を活かし、しっかりと議長を支えてまいる所存ですので、今後とも、市民の皆様のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。



第13代湖南市議会議長
上野 顕 介

昨年11月より議長を務めております上野顕介です。市議会を代表する職責の重さにあらためて身の引き締まる日々です。

本年につきましては、議会基本条例の見直しについて引き続き議会改革として取り組み、特に議員定数や報酬等はより議論を深めるよう努めます。

公正中立な議会運営に注力しながら、議員それぞれの活発な意見でまちを明るくする材料とし、議論については一定の規範（法律、条令、規程等）を遵守する、そのような湖南市議会でありたいと思います。

退任あいさつ



前議長 堀田 繁樹

議長退任にあたり一言ごあいさつ申し上げます。令和4年6月議

会定例会におきまして議長職に就任以来、一年半の間その職責を無事務めることができました。市民の皆様や議員各位のご理解とご協力のおかげと心より感謝申し上げます。

在任中は二元代表制の一翼を担う市議会として行政に真摯に向き合いながら、公正な議会運営のため努めてまいりました。

今後は一議員として本市の課題解決のために汗を流すこととお誓い申し上げます。退任のごあいさつとさせていただきます。

各委員会

【議会運営委員会】

後列左から：中土翔太委員・堀田繁樹委員・松井圭子委員・森淳委員
 前列左から：藤川みゆき委員・望月卓委員長・細川ゆかり副委員長・大島正秀委員



所管事項

議会の運営に関する事項、議会の会議規則・委員会に関する条例等に関する事項、議長の諮問に関する事項

【総務常任委員会】



後列左から：加藤貞一郎委員・松井圭子委員
 前列左から：永田誠治副委員長・大島正秀委員長・望月卓委員

所管事項

総合政策部（総合教育会議に関する事項を除く。）、総務部、出納局、議会事務局、選挙管理委員会、公平委員会及び監査委員の所管に関する事項。他の常任委員会の所管に属しない事項。

【福祉教育常任委員会】

後列左から：森淳委員・副田悦子委員・川波忠臣委員
 前列左から：藤川みゆき委員長・松原栄樹副委員長



所管事項

健康福祉部、福祉事務所、教育委員会、総合政策部のうち総合教育会議に関する事項。

【産業経常任委員会】



後列左から：奥村幹郎委員・堀田繁樹委員・赤祖父裕美委員
 前列左から：中土翔太委員長・細川ゆかり副委員長

所管事項

都市建設部、環境経済部、上下水道事業所、農業委員会に関する事項。

【議会改革推進特別委員会】

後列左から：川波忠臣委員・奥村幹郎委員・永田誠治委員
 前列左から：堀田繁樹委員・森淳委員長・副田悦子副委員長



所管事項

議会基本条例の具現化とその運用の検証検討を行うとともに議会活性化に向け、さらに議会全般にわたる改革を行う

【予算常任委員会】



後列左から：森淳委員・堀田繁樹委員・川波忠臣委員・大島正秀委員
前列左から：藤川みゆき委員・細川ゆかり委員長・奥村幹郎副委員長・加藤貞一郎委員

所管事項

予算及びこれに関する事項

【決算常任委員会】

後列左から：中土翔太委員・松原栄樹委員・望月卓委員・永田誠治委員
前列左から：松井圭子委員長・赤祖父裕美副委員長・副田悦子委員



所管事項

決算及びこれに関する事項、事務事業評価に関する事項

【議会広報委員会】



後列左から：中土翔太委員・川波忠臣委員・副田悦子委員
前列左から：奥村幹郎委員長・永田誠治副委員長

所管事項

湖南省議会の審議状況等を住民によく知らしめるため「湖南省議会議決結果」を発行する

各種機関等

名 称	委 員 (議員)
甲賀広域行政組合議会議員	大島正秀 (副議長)、望月卓、松原栄樹、松井圭子、堀田繁樹
公立甲賀病院組合議会議員	藤川みゆき (議長)、森淳、加藤貞一郎、上野顕介、細川ゆかり
監 査 委 員 員	堀田繁樹
都市計画審議会委員	上野顕介、森淳
空家等対策推進協議会委員	中土翔太

会派構成

会 派	森淳議員、望月卓議員、堀田繁樹議員、上野顕介議員、藤川みゆき議員、大島正秀議員、奥村幹郎議員、中土翔太議員、永田誠治議員
日本共産党湖南省議員団	松井圭子議員、川波忠臣議員
湖南省公明党議員団	細川ゆかり議員、副田悦子議員

11月議会臨時会 議決結果

分類	議案名等	結果
条 例	議案第79号 令和5年度湖南省一般会計補正予算(第6号) 繰越明許費の設定 事業名 石部駅周辺整備事業 金 額 3億4,121万8千円	◎
	議案第80号 監査委員の選任につき同意を求めることについて 監査委員の選任について、地方自治法(昭和22年法律第67条)第196条第1項の規定により議会の同意を求める。	◎
条 例	議案第53号 湖南省立図書館条例の一部を改正する条例の制定について 湖南省立図書館の統廃合等に伴い、所要の改正を行うもの。	×
	議案第54号 湖南省文化ホール条例の一部を改正する条例の制定について 湖南省文化ホールの統廃合等に伴い、所要の改正を行うもの。	×

※◎全会一致で原案可決・採択 ○賛成多数で原案可決 ×反対多数で否決

12月議会定例会 議決結果

分類	議案名等	結果
補正予算	議案第92号 令和5年度湖南省国民健康保険診療所特別会計補正予算(第2号) 歳入歳出それぞれ460万円を追加し、補正後の額を5億3,756万5千円とするもの。 【歳入予算の主な補正内容】 夏見診療所諸収入 149万4千円、石部診療所諸収入 310万6千円 【歳出予算の主な補正内容】 委託料 149万4千円、備品購入費 149万6千円	◎
	議案第93号 令和5年度湖南省後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号) 歳入歳出それぞれ2,155万2千円を追加し、補正後の額を11億5,487万2千円とするもの。 【歳入予算の主な補正内容】 雑入 2,155万2千円 【歳出予算の主な補正内容】 一般会計繰入金 2,155万2千円	◎
	議案第94号 令和5年度湖南省介護保険特別会計補正予算(第2号) 歳入歳出それぞれ1,329万4千円を追加し、補正後の額を41億5,073万3千円とするもの。 【歳入予算の主な補正内容】 一般会計繰入金 940万2千円、国庫支出金 141万4千円 【歳出予算の主な補正内容】 総務管理費 143万7千円、保険給付費 80万円、地域支援事業費 250万円、人件費 855万7千円	◎
	議案第95号 令和5年度湖南省水道事業会計補正予算(第1号) 収益的支出を190万3千円追加し、補正後の額を18億6,593万円とするもの。 (収益的収入及び支出) 【支出予算の主な補正内容】 過年度損益修正損 190万3千円	◎
	議案第96号 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて 令和5年12月31日をもって任期満了となる人権擁護委員の後任委員の推薦につき、人権擁護委員法第6条第3項の規定に基づき、議会に意見を求めるもの。	◎
その他	議案第97号 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて 令和5年12月31日をもって任期満了となる人権擁護委員の後任委員の推薦につき、人権擁護委員法第6条第3項の規定に基づき、議会に意見を求めるもの。	◎
	議案第98号 指定管理者の指定について(湖南省社会福祉センター) 湖南省社会福祉センターを令和6年4月1日から令和11年3月31日までの期間、社会福祉法人湖南省社会福祉協議会を指定管理者として指定することについて、議会の議決を求めるもの。	◎
	議案第99号 指定管理者の指定について(湖南省共同福祉施設) 湖南省共同福祉施設を令和6年4月1日から令和11年3月31日までの期間、湖南省商工会を指定管理者として指定することについて、議会の議決を求めるもの。	◎
	議案第100号 市道路線の認定について 認定路線2路線	◎
	議案第101号 湖南省手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について 戸籍法の一部を改正する法律(令和元年法律第17号)附則第1条第5号が令和6年3月1日に施行されることに伴い、地方公共団体の手数料の標準に関する政令が改正され、新たに手数料を徴収する事務が追加されるため、所要の改正を行うもの。	◎
条例	議案第102号 令和5年度湖南省一般会計補正予算(第8号) 歳入歳出それぞれ3億2,554万5千円を追加し、補正後の額を237億7,656万円とするもの。 【歳入予算の主な補正内容】 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 3億2,297万1千円 【歳出予算の主な補正内容】 住民税非課税世帯等臨時特別給付金給付事業(追加給付分)3億2,297万1千円	◎

分類	議案名等	結果
条例	議案第81号 湖南省個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の改正に伴い、個人番号の独自利用事務および特定個人情報の庁内連携に関する事項について、所要の改正を行うもの。	◎
	議案第82号 湖南省印鑑条例の一部を改正する条例の制定について コンビニ交付サービスの利用にあたり、個人番号カードに加え、電子証明書が搭載されたスマートフォンでも申請ができるよう、所要の改正を行うもの。	◎
	議案第83号 湖南省議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例及び湖南省特別職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について 国における指定職の期末手当の改定に準じて、議会議員および特別職の期末手当の改定を行うため、所要の改正を行うもの。	○
	議案第84号 湖南省職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について 人事院勧告に基づき国家公務員の給与改定等に準じて、職員の給与改定を行うため、所要の改正を行うもの。	◎
	議案第85号 湖南省国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について 国民健康保険法施行令および地方税法の一部改正に伴い、産前産後期間の被保険者所得割額および均等割額を減額することについて、所要の改正を行うもの。	◎
	議案第86号 湖南省福祉医療費助成条例の一部を改正する条例の制定について 高校生世代の子ども、および精神障がい者に対する医療費助成を拡充するため、所要の改正を行うもの。	◎
	議案第87号 湖南省特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について 地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律の制定により、就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律が改正されたことに伴い、所要の改正を行うもの。	◎
	議案第88号 湖南省屋外広告物条例の一部を改正する条例の制定について 都市計画法の改正に伴う条番号のずれの修正および屋外広告物管理者要件の変更について、所要の改正を行うもの。	◎
	議案第89号 湖南省道路占用料徴収条例の一部を改正する条例の制定について 道路法施行令の一部改正を受けて、道路占用料の改定を行うため、所要の改正を行うもの。	◎
	議案第90号 令和5年度湖南省一般会計補正予算(第7号) 歳入歳出それぞれ2,607万2千円を追加し、補正後の額を234億5,101万5千円とするもの。 【歳入予算の主な補正内容】 地域脱炭素移行・再エネ推進交付金 △5,897万円 地域密着型サービス施設等整備費補助金 △3,360万円 ふるさと寄附金 1億2,000万円 公共公益施設等整備基金繰入金 △2,021万2千円 財政調整基金繰入金 1億3,244万円 【歳出予算の主な補正内容】 下田まちづくりセンター大規模改修工事 △2億1,016万2千円 地域密着型サービス施設等整備費補助金 △3,360万円 介護施設等開設準備経費補助金 △755万1千円 道路維持補修工事 2,500万円 給食センター賄材料費 4,719万6千円	○
議案第91号 令和5年度湖南省国民健康保険特別会計補正予算(第2号) 歳入歳出それぞれ1億1,979万円を追加し、補正後の額を54億4,032万2千円とするもの。 【歳入予算の主な補正内容】 県支出金 1億1,939万1千円、繰入金 39万9千円 【歳出予算の主な補正内容】 総務費 45万6千円、保険給付費 1億1,900万円、保健事業費 63万7千円、諸支金 △30万3千円	◎	

※◎全会一致で原案可決・採択 ○賛成多数で原案可決 ×反対多数で否決

令和5年12月湖南省議会定例会 提出案件(賛否)

○:賛成 ●:反対

議案番号	件名	会派さずな								日本共産党湖南省議員団		湖南省公明党議員団		無会派		
		森淳	望月卓	堀田繁樹	藤川みゆき	大島正秀	奥村幹郎	中土翔太	永田誠治	松井圭子	川波忠臣	細川ゆかり	副田悦子	赤祖父裕美	松原栄樹	加藤貞一郎
議案第83号	湖南省議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例及び湖南省特別職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○
議案第90号	令和5年度湖南省一般会計補正予算(第7号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長は採決に加わりません。

意見書第8号

選択的夫婦別姓制度の議論活性化を求める意見書

夫婦が望む場合には、結婚後も夫婦がそれぞれ結婚前の姓を称することを認める選択的夫婦別姓制度の導入に関し、1996年2月に国の法制審議会が答申を出してから四半世紀が経過した。2018年3月の衆議院法務委員会において、法務省民事局長が夫婦同姓制を採用している国は日本以外にはない旨を答弁し、また2021年4月の同委員会において、法務大臣が仮に選択的夫婦別姓制度が導入された場合でも戸籍の機能や重要性は変わらない旨を答弁している。

さらに、2021年6月23日に示された最高裁判所決定では、夫婦の氏についての制度のあり方について「国会で論ぜられ、判断されるべき事柄にほかならない」と示している。補足意見では「全国の地方議会から国または関係行政庁に対して、選択的夫婦別氏制度の導入またはこれについての国会審議の促進を求める意見書が提出されている」と指導した上で「事情の変化いかんによっては、憲法第24条に違反すると評価されるに至ることもあり得るものと考えられる」と言及した。

平均初婚年齢が30歳前後の現代においては、男女とも生まれ持った氏名で信用・実績・資産を築いてから婚姻を迎えることも多く、結婚に伴う改正により社会的不利益・不都合や精神的苦痛を被る事例が増加している。さらに、個人のアイデンティティーの尊重、家族のあり方が多様化する中、選択肢を持てる法制度を求める声広がってきている。

多様性を認める社会、男女共同参画、基本的人権の尊重の観点から、社会の変化や最高裁判所の判断の趣旨も踏まえ、国会及び政府の責務として制度のあり方を議論していかなければならない。

よって、国におかれては早期に選択的夫婦別姓制度の積極的な議論を展開されることを強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和5年12月8日

滋賀県湖南省議会
議長 上野 顕介

衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・法務大臣・総務大臣 あて

**連合審査会
10月13日開催**

付託案件
議案第53号 福祉教育常任委員会
議案第54号 総務常任委員会

議案第53号

問 石部図書館の維持管理経費と人件費、4つに分散化した場合はどうなるのか。

答 石部図書館の維持管理経費は、このまま石部文化総合センターとして維持していく場合、高額な経費がかかる。人件費は、1館に集約化しても、人を削減しないので、変わらない。公共施設等総合管理計画個別施設計画の中でも、2館を1館にという方向性なので、4つに分散化するということとは考えていない。

反対討論

なぜ石部文化総合センターを先に潰すのか、市民に示し、協議して決めていくことが、市民協働のまちづくりだと思います。本を大切にしてきた市民の思いに寄り添い、市の事業として本を活用した小規模多機能自治センターの設置を強く望んでいるため反対とする。他に討論はなく、採決を行いました。

議案第54号

全員反対で否決

先の小規模多機能自治検討特別委員会では、2.3億円の交付税措置、令和8年度まで対応の有利な除却債適用があるという説明でしたが、今、無いという説明です。どれが正しいのか。との質疑に対して、公共施設等適正管理推進事業債の中の集約化・複合化事業、これは集

**総務
常任委員会**

付託案件 8件

約化・複合化によって、床面積が減少する場合は、充当率90%、交付税措置が50%適用されます。除却事業に関しては、充当率90%、交付税措置はないということですとの答弁でした。

全員反対で否決

マイナンバーカードをお持ちでない方に今後、保険の証明がどのようなになるのかという質疑に対し、マイナンバーカードを持ってもらえない方につきまし

議案第81号

全員賛成で可決

では健康保険証に代わる資格確認書を発行させていただくとの答弁でした。

コンビニ等での証明書交付手続きについて、マイナンバーカードは持っていないがスマートフォンを持っている方は利用できないのかとの質疑に対し、マイナンバーカードを持つておられる方がカードの代わりにスマートフォンにアプリを入れて交付を受けるので、スマートフォンを持っているだけではできませんとの答弁でした。

議案第82号

全員賛成で可決

特段質疑がありませんでした。

議案第84号

賛成多数で可決

改正による減収分は市が4分の1の負担ですが、この財源は一般会計からの繰り出しという解釈でよいのかという質疑に対し、その通りですとの答弁でした。

議案第85号

全員賛成で可決

指定管理者制度は公募が大前提ではないかとの質疑に対し、重々理解していますが、条例施行規則にも記載しているように人材活用や雇用の創出という理由付けで公募による選定理由という部分

議案第83号

全員賛成で可決

時期を遅らせる自治体もあると聞か、どう考えるかとの質疑に対し、関連する84号の職員給与もございませんと

議案第98号

全員賛成で可決

金額を湖南市独自で決められることという質疑に対し、市独自で金額を決めることもできませんが従来から国が制定している地方公共団体の手数料の標準に関する政令に基づいて改正をさせてもらったとの答弁でした。

議案第101号

全員賛成で可決

前回は3年の指定管理期間でしたがとの質疑に対し、前回は庁舎の建て替え問題があったので3年としましたが原則通り5年に戻したとの答弁でした。

議案第99号

全員賛成で可決

全員賛成で可決

**福祉教育
常任委員会**

付託案件 2件

議案第86号
入院または通院にかかる医療費助成の対象を、高校生世代までに広げ、また、重度心身障害児・老人福祉医療費の助成事業においても、これまで重度の障がい又は身体障害者手帳もしくは療育手帳の所有者に限定されていたが、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方も対象とします。高校生世代の子どもに対する医療費を助成すること、子育て世帯の医療費負担の一層の軽減を図り、子育て支援の一端を担うこと、また障がいの種別によって不均衡が生じていることから、重度心身障がい者に対する医療費助成制度を拡充し、その不均衡を是正することを目的とします。高校生世代の子どもに対する医療費助成は、乳幼児と同じく県の制度となりますが、県制度では診療報酬明細書一通あたり500円、入院の場合は14日を上限に一日あたり1000円の本人負担分を支払うことになっていました。しかし、本市では本人負担分を市が負担し、乳幼児や小中学生と同様、高校生世代の医療費も無料とします。との説明がありました。

全員賛成で可決

議案第87号
地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律の制定で改正されたことによる条例の一部改正です。これまで認定こども園の認定、または認可について、都道府県へ事前協議を行う必要がありました。法改正により事前協議から事前通知に見直されたことで認定こども園法の第3条第10項が削除され、それに伴い本条例の一部見直しが必要となりました。また、例規上の不備を修正するなどの改正と なっています。との説明がありました。

**産業経済
常任委員会**

付託案件 3件

議案第88号
湖南省屋外広告物条例の一部を改正する条例の制定について
問 屋外広告物の管理者要件として追加された講習会修了者の詳細は。
答 県の広告物条例における要件に合わせるため、屋外広告物の設置や管理についての講習の修了者を要件に加えました。

全員賛成で可決

湖南省道路占用料徴収条例の一部を改正する条例の制定について



全員賛成で可決

議案第100号
市道路線の認定について
問 占用料が改正により上がる占用物件と下がる占用物件がある理由は。
答 国の改定を受けて、県では令和5年4月1日より占用料が改正され、市もそれに準じています。土地の評価が変わったことによるものです。

全員賛成で可決

議案第15号
令和4年度甲賀広域行政組合一般会計歳入歳出決算の認定について
問 県の広告物条例における要件に合わせるため、屋外広告物の設置や管理についての講習の修了者を要件に加えました。

全員賛成で可決

議案第14号
甲賀広域行政組合火災予防条例の一部を改正する条例の制定について

全員賛成で可決

議案第13号
甲賀広域行政組合ワクチン未接種者への対応事業等ハラスメント調査委員会設置条例の制定について専決処分につき承認を求めることについて

議案第13号

9月29日定例会

甲賀広域行政組合

全員賛成で可決

議案第16号
令和5年度甲賀広域行政組合一般会計補正予算(第2号)について

全員賛成で認定

議案第15号
令和4年度甲賀広域行政組合一般会計歳入歳出決算の認定について

11月24日 臨時議会

議長選挙

谷永兼一

(甲賀市議会)

副議長選挙

大島正秀

(湖南市議会)

監査委員の選任

山岡光広

(甲賀市議会)

識見監査委員の選任

大角勝一

以上の方々が選ばれました。



公立甲賀病院組合

令和5年第2回公立甲賀病院組合議会(10月17日)

議案第8号

令和4年度公立甲賀病院組合一般会計歳入歳出決算の認定について

全員賛成で認定

議案第9号

令和5年度公立甲賀病院組合一般会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ924万7千円を増額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ22億1954万7千円とする。

全員賛成で可決

新型コロナウイルス感染症状況について、看護師の充足見通しについて、マイナンバーカード普及促進実態の課題について、感染症医療への方針と体制づくりについて、2名の一般質問がありました。

令和5年第3回公立甲賀病院組合議会臨時会(11月24日)

議会議員の任期満了

により、新たなメンバー構成となり、令和5年公立甲賀病院組合議会第3回臨時会が11月24日に開催されました。

議長は湖南市議会の藤川みゆき、副議長は甲賀市議会の中島裕介議員が共に満票で選出となりました。

また、管理者である岩永甲賀市長より議会選出の監査委員として湖南市議会の森淳議員が任命され、全会一致で同意されました。



予算常任委員会

付託案件 7件

議案第90号

主な質疑

問 会計年度任用職員の報酬が減額となっている理由は。

答 当初予算より人数が減っているためです。

問 入札件数増加に伴う不足分増額で、契約にかかる借り上げ料の増加理由について

答 契約システムは入札件数、執行する回数に応じて使用料を支払うという契約になっているためです。

問 庁舎整備基本計画の見直しに係る外部検討委員報酬で委員の人数

数、選定方法、予定している開催回数は。

答 検討委員会の設置要綱第3条で、委員は有識者、あるいは市民団体等の代表者、その他市長が必要と認めるものから市長が委嘱するとなっております。

問 過年度母子家庭等対策総合支援事業国庫補助金返還金について

答 母子家庭等就業・自立支援事業、ひとり親家庭等対策の普及促進を図ることを目的とする事業でそのうちの自立支援、教育訓練給付事業と高等職業訓練促進給付金事業とひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援事業と母子・父子自立支援プログラム策定事業と離婚前後親支援モデル事業について交付

育て支援交付金返還金について

答 子ども・子育て交付金の支援法に基づき13事業の交付決定額と実績報告の確定額との差額分、補助率の3分の2を返還するものです。

問 過年度子ども・子育て支援交付金返還金について

答 子ども・子育て交付金の支援法に基づき13事業の交付決定額と実績報告の確定額との差額分、補助率の3分の2を返還するものです。

問 過年度子ども・子育て支援交付金返還金について

答 子ども・子育て交付金の支援法に基づき13事業の交付決定額と実績報告の確定額との差額分、補助率の3分の2を返還するものです。

問 過年度子ども・子育て支援交付金返還金について

答 子ども・子育て交付金の支援法に基づき13事業の交付決定額と実績報告の確定額との差額分、補助率の3分の2を返還するものです。

決定額と確定額の差額を返却するものです。

問 物価高騰等について湖南市全体が受けた影響の総額は。

答 予算が各課に分かれており、集約ができていないため、全体額は把握できていません。

問 リサイクルプラザの人材派遣委託にかかる債務負担行為の必要性について

答 リサイクルプラザでは慢性的に人材不足で人材派遣委託を行っており、現契約が令和5年度で切れるため、来年度の契約手続きを令和5年度中に行うものです。

問 道路維持補修事業の増額について、物価高騰や原材料費の高騰の影響か。
答 物価高騰の影響も

ありますが、現在10月時点において307件の要望があり、地域の皆さまの要望にお応えするための増額です。

問 三雲児童館保育サポート業務委託の実績に基づく増額について

答 滋賀県の最低賃金改正に伴い、1時間単位の増額と、土日の事業の分も含まれます。

問 子育て支援ヘルプ事業委託の増額理由は。

答 生後3歳までの乳幼児のいる世帯に対し、家事や通院、育児等の支援を行う事業で、利用世帯数が予定よりも増加したため増額しました。

問 産婦健診の減額理由は。
答 当初、妊産婦の健診を450人で見込んでいましたが、当年度

末の実数を試算し、差額を減額しました。

問 コミュニティバス運行対策費について、乗り合い率は。

答 乗り合い率は、ほぼゼロに近いです。

反対討論

人事院勧告に基づく特別職の職員の給与に関する法律の一部改正に準じた市議会議員などの特別職期末手当の改定について、民間ではまだ賃上げが十分に進んでいない状況の中で、市民の理解を得にくいと考えることから反対とします。

賛成多数で可決

議案第91号、95号及び議案第102号

全員賛成で可決

業務継続性確保のための非常用電源設置を！



湖南市公明党議員団 ● 細川 ゆかり 議員

災害時の非常用電源について

問 災害対策本部の業務継続性確保のための非常用電源について

答 庁舎には、非常用電源は有しておらず、現在、庁舎周辺整備基本計画において災害対策本部機能を含めた庁舎の方向性を検討中で、庁舎が整備されるまでの間は、滋賀県、近隣自治体や関係団体と連携を図るとともに、発電機のリース、市内事業者等との災害時応援協定の締結により対応してまいります。

問 指定避難所となる各施設の非常用電源は。

答 約50施設の指定避難所において、発災後72時間稼働可能な非常用電源は無く、可搬型の発電機(2kw未満)が地区連絡所や庁舎に15台、各まちづくり協議会や各区で備えているところもあります。市として、電気自動車や太陽光発電の利

用、災害時応援協定などにより確保できる仕組みを進めているところです。

問 「こなんウルトラパワー(株)」との連携は。

答 まちづくりセンターに太陽光発電一体型カーポートの設置を進めており、災害時に課題となるレジリエンス強化にも寄与します。

問 在宅避難で災害備蓄品に加えて小型発電機の備えを推奨しては。

答 防災出前講座にて啓発しており、引き続き広報・市HPで周知啓発していきます。

問 人工呼吸器などの外部電源購入のための助成について

答 平成31年4月から人工呼吸器用自家発電機または外部バッテリーを市独自の対象品目として給付しています。

その他、がんと共生について質問しました。



住民自治の第一歩！ 「知る」と「関わる」



会派 きずな ● 中土 翔太 議員

市民が図書館に求めている機能は多様。図書館でなくても提供できる機能が身近な小規模多機能自治センターで享受できれば、市民にとってむしろ便利になるのでは。

- レファレンスを利用する人
- ソファで新聞が読みたい人
- 借りたい本が決まっている人
- 持ち込みで勉強したい人
- 図書館で読むことが好きな人

問 図書機能等の小規模多機能自治センターに求められる機能について

答 市が想定する自治センターの図書機能は、予約本の受け取りと返却の機能です。

問 市民が図書館に求めている機能の整理やニーズ把握が必要では。

答 タウンミーティング以降に調べ、約4割の来館者は本を借りずに館内で読書等をして過ごされていることが分かりました。自主学习や歓談の場を求める声も把握しています。

これからの行政に求められる広報広聴のあり方

膨大な全ての情報 ↓ 自分に該当する情報 個別最適化	市民が情報を取りに行く ↓ 行政が情報を市民に届ける プッシュ型	主に「行政→市民」 ↓ 「行政⇄市民」 双方向性
-------------------------------------	---	-----------------------------------

問 住民自治に対する支援は十分との認識か。

答 自治センターは地域サポートセンターの役割もあり、地域に対する支援や連携の形を確立させていきます。

広報広聴について

問 2月実施の広報アンケートの結果を受けた今後の取り組みは。

答 広報紙・ホームページを軸に他の媒体でプッシュ通知を行い情報発信することを基本とし、見づらいたされるホームページの見直しを進める予定です。



文化の振興と 石部文化ホールについて



無会派 ● 赤祖父 裕美 議員

問 求めている文化は。市民の文化・芸術の参加・参画意識の醸成を図っていきます。

問 石部文化ホールの維持経費について

答 石部文化総合センターとして概算で年間約1270万円。建築から34年が経過しており、舞台吊物設備や調光設備、また空調改修が必要となり、改修費用は概算で約3億9千万円の見込みです。

問 ホール部分だけの改修はできないのか。

答 建築物は一体的に耐震などの構造計算がされており、大きなスペースの改修は相当なる補強が必要となります。

問 石部文化総合センターの今後について

答 西庁舎周辺整備計画の方向性と整合を図りながら、中学校区の小規模多機能自治構想の中で検討していきます。

問 子どもを育む施策について

問 国が努力義務と定める「子ども家庭センター」の設置と目的は。

答 孤立感や不安感を抱く妊婦・子育て家庭への伴走型相談支援、経済的支援のため、母子保健係、家庭児童相談室、子ども家庭総合センターと連携して設置していきます。

市道宮ヶ谷線歩道設置について

答 地権者との協議に時間を要しています。湖南市道路整備計画短期計画としてなくなることはありません。

ハチの巣駆除に対する費用補助制度は

答 今のところ、補助制度導入は考えていません。





带状疱疹・緑内障は 早期発見の努力を



湖南市公明党議員団 ● 副田 悦子 議員

問 発症年齢は50歳以上が65・7%を占め、60〜80歳代でピークを迎える带状疱疹については周知と予防効果の高いワクチンの助成について

答 HPやチラシ等で啓発していきます。ワクチンは予防効果と同時に副反応もあることから任意接種としてご本人が検討した上で接種を受けていただく必要があると考えます。

問 带状疱疹と気づかず放置されて治療するのに日にちがかかる例が多いとのデータがあるが、発疹から72時間内の投薬でずいぶん早期に治療できる疾病であること、治療後に疼痛が長期間残る「带状疱疹後神経痛」に悩まれる方が多いことを特に50歳代以上の方に更に啓発していくべき。

答 集団健康診断の際

にも疾患及び予防のための生活習慣についても話をしていきたいと思えます。

問 自治体でのワクチン助成が昨年より全国で290増加しているが、326となっているが、湖南市の今後は、

答 定期接種となっていないので重篤な副反応が出た際、国の予防接種健康被害救済制度の対象になりません。今後国の動きや近隣市町村の状況を注視してまいりたいと考えます。

問 失明原因1位の「緑内障」は治療法がなく自覚症状もなく、眼底検査でしか発見できない。周知が重要。

答 血糖値の基準値を超えた方に対し勧奨しています。委託業者と調整の上オプション検査として実施することを検討できると考えています。



思いやりのある まちづくりを目指して



会派 きずな ● 大島 正秀 議員

問 小中学校の樹木等の定期点検について

答 市内全校で日常点検とは別に月一度、学校施設全般の安全点検を行っています。点検の中で危険箇所などが発見された場合、樹木だけに限らず、必要に応じて学校と教育委員会が連携して専門業者と相談、知見なども聞きながら対応を行っております。今後も学校施設の管理において、学校と教育委員会の連携強化に努め、日常点検及び定期点検を徹底し、子どもたちが安心して学び、活動できる環境を整えるため、安全を第一に専門業者の協力を得る必要に応じて予算確保に努め取り組んでまいりたいと考えております。

問 第79回国民スポーツ大会・第24回全国障

害者スポーツ大会における障がい者に配慮した施設整備について

答 令和4年度に実施した総合体育館のトイレ改修工事では段差の解消や便器の洋式化、水栓の自動化等のバリアフリー化対応を行いました。今年度の改修工事では体育館の玄関前の床を滑りにくくするシート改修や階段部への手すりの設置により、障がい者に配慮した施設整備を行いました。今後におきましてはロッカールーム等の改修を進め誰もが使いやすい施設として、また障がい者や高齢者などに配慮した整備を進め、国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会を通じてスポーツを振興していくこととしております。

一般質問



まちの活性化について



会派 きずな ● 望月 卓 議員

問 ふるさと納税の現状と増加対策は。

答 地域を応援するふるさと納税は、税額控除や返礼品のメリットを享受できる事から、全国的に年々市場規模は増加傾向であり、自治体間での過当競争も見かけられる。本市においては、ふるさと納税制度の寄附による財源の活用もさることながら、地域の特産品等を返礼品に選定する事で市内業者を支援するとともに、本市の魅力地域内外に発信する事により、移住促進や関係人口の創出等のシティブロモーションに繋がることから、積極的に取り組んでいるところです。

令和4年度の寄附総額は、約2億5千万円であり、市民の方が他の市町に寄附した総額は、約2億2千万円と

なり、若干市内への寄附総額が上回る実績です。

寄附総額が多い市町では、ふるさと納税単独窓口を設け、多くのアイデアを駆使した取り組みを行い、寄付額が、地方税収を超える自治体もあり、基金を活用して翌年度に大掛かりな事業への取り組みが見受けられます。

本市においても、大きなプロジェクトを実施する場合には、貴重な財源となることから、市内業者の魅力ある返礼品開拓や戦略的な広告の運用、市民の皆さんに御協力をいただいで、SNSなどを通じて、公式YouTubeチャンネルの拡散等効果的なプロモーション施策を展開し、寄付額の更なる増収に取り組めます。



災害対策の備えについて



会派 きずな ● 永田 誠治 議員

問 ①水害対策について防災マップに記載されている市内各所の冠水や土砂災害などが予想される河川の整備や管理をどのように進められるのか。

答 水害対策において、流末排水を担う一級河川や普通河川は非常に重要であり、日頃から河川機能を保持することが必要であると考えております。通常、河川の浚渫を実施する場合、それぞれの河川が持っている河積に対し土砂堆積がどれくらい影響を及ぼしているかを現地を確認し、阻害率の結果を参考に、実施の有無を判断していくこととなります。

問 ②通信手段について災害情報の収集、発信をどのようにされるか。
答 災害時における市からの情報伝達手段につきましては、防災行

政無線の機能強化を進めており、老朽化した防災行政無線操作卓を更新し、ホームページ登録制メール配信サービス、SNS等への多層的な情報発信を一括で自動配信可能とする環境を整備しました。

問 ③備蓄食料について小中学校の給食に提供することで、防災教育の一環として意識を高めることに有効ではないか。

答 備蓄食料の学校給食としての提供につきましては、カロリーや栄養バランスなどの観点から献立を考えられた給食の代替えとはなりません。児童・生徒が実際に備蓄食料を食べるにより、実践的な防災教育の場となることから、教育委員会と連携し、検討してまいりたいと考えます。

一般質問

誰もが利用したくなる 図書館サービスの充実



日本共産党湖南省議員団 ● 松井 けい子 議員

問 図書館は、多様な世代を惹きつけ、誰もが利用したくなる図書館サービスの展開が必要。利用状況は。

答 来館者数、貸出冊数は、コロナ前より減少したが、移動図書館の巡回先を15カ所から22カ所に増やすことで、利用者160%、貸出冊数134%増加と見込んでいます。

問 以前から要望の多い図書館内の学習やサービスの充実は。

答 図書館の資料を活用しなくても自主学習ができるようにします。甲西図書館は、フリーWi-Fiの整備があるので、パソコン持ち込みも結構です。市民の方がアイデアや力を発揮できる場、人と人が出会い、交わる場所となるよう努めます。

ホームページの利用ニーズに応じたバナーを増やすことは。

答 トップページのバナーを一部改修する作業を進めています。

問 古い情報の削除、更新のチェック体制は。

答 URLのリンク切れや古いデータが更新されていない状況を全庁的に呼びかけ組織横断的に確認を行います。

約8割の児童生徒が学校トイレに生理用品の設置を望んでいるが。

答 他市では、いたずらが多発、清潔管理が課題。市は保健室対応で、児童生徒の体調や家庭状況を把握し必要な支援と情報提供をします。

問 住宅困窮者の状況は。

答 今年度の半年間で22件の相談があり、住宅確保給付金、一時生活支援事業、就労支援、生活保護の案内や県指定の居住支援法人の情報提供を行っています。

医療施設・スポーツ施設・ 道路管理の充実!!



会派 きずな ● 堀田 繁樹 議員

問 国民健康保険直営「岩根診療所」の今後について休診後の医師確保組の経過は。

答 今年5月から9月にかけて、県内医療機関や東京に本部のある法人等に医師派遣依頼を行いました。いずれも全国的に医師不足があり、湖南省は他地域に比べ優先順位が低いとの見解で、医師確保には至りませんでした。

問 岩根診療所再開に向けて今後の見通しは。

答 医師派遣による再開については困難であり、医師派遣以外の方法も含めて早期再開を目指してまいります。

問 県外他市へき地における週1回の診療体制事例について

答 岩根診療所については休診以前の診療体制で検討していきます。

問 スポーツを核とした地域活性化と市内主

要施設利用状況について

答 利用者数が多いのは総合体育館・サンビレッジ甲西で2年前のコロナ禍から比べ増加しています。

問 施設の有効活用に向けた今後の方針は。

答 サンビレッジ甲西照明施設のLED化や体育施設全般のトイレ改修などを順次計画的に実施予定です。更なる活性化の施設づくりについては、スポーツ推進審議会に諮り検討してまいります。

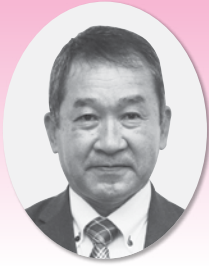
問 道路管理の概要は。

答 市内4ブロックで入札等により発注、道路パトロール、穴埋め等はシルバー人材センターへ委託です。

問 道路通報システムの導入方針は。

答 安心安全のため既存アプリの改良を含め検討していきます。

一般質問



公共施設等総合管理計画について



会派 きずな ● 奥村 幹郎 議員

東庁舎及び西庁舎（庁舎整備基本計画）の検討状況について

答 基本計画の策定につきましては、昨年6月に「湖南市庁舎整備基本計画策定業務委託」をコンサルタント会社と契約し、現在過年度業務の精査等の条件整理、庁舎の規模、配置等の庁舎整備方針、周辺整備の将来像検証などを、内部及び外部の検討委員会を立ち上げ、進めているところであります。なお計画策定作業の進捗につきましては、令和6年3月定例会にて中間報告をさせていただきますと考えております。

その他の施設の検討状況について

問 三雲学童保育所について

答 老朽化が進んでおりますので三雲小学校の長寿命化に合わせて

複合化を検討してまいります。

問 三雲東学童保育所について

答 計画通り維持管理に努めるとともに、三雲東小学校への複合化を検討しています。

問 三雲児童館について

答 新耐震基準を満たしていない施設となりますので、今後他の施設と複合化としておりますが、施設の必要性・効率性を示す利用状況及びコスト状況も踏まえて検討していくこととします。

湖南市公共施設等総合管理計画及び個別施設計画につきましては、現在改定の作業を行っており、令和6年度の当初予算を反映した形で計画の改定（案）を令和6年3月議会に報告させていただきます。予定です。



菩提寺付近の交通・水害の問題について



日本共産党湖南市議員団 ● 川波 忠臣 議員

菩提寺周辺の交通と水害の問題について

問 みどりの村付近の交差点が冠水する問題について

答 本年5月に、交差点から竜王側に向けて新たな排水路を併設しました。また、暗渠管手前の固定スクリーンをごみ清掃が可能な製品に置き換えました。

問 広野地区付近の水害の危険性について

答 開発予定地内に調整池を設置します。また付近の川が溢れた際に備え、新たに設けられる排水路を介して大山川に直接排水が行える計画です。その他に周辺の既設水路の清掃や修繕等を行います。

問 菩提寺新町の交差点の右折レーン設置について

答 まずは交通量調査を実施し、必要性を客観的に分析します。

また、右折レーンを設置する用地がなく、沿道にも店舗があり新たな用地確保は困難です。

信号の調節や右折禁止で対応できないか関係機関と検討します。

問 近江台の交差点における横断歩道の危険について

答 安全対策が図られるよう県道路管理者に強く要望していきます。

問 菩提寺地域における交通渋滞について

答 令和3年度に実施された全国道路・街路交通情勢調査において、特に朝夕の慢性的な渋滞は明らかです。こうした結果を元に渋滞緩和対策について県道管理者に要望していきます。

その他、「あいのりこなん」や公共交通について質問しました。

一般質問



ごみステーションの 設置、維持管理!!



会派 きずな ● 森 すなお 議員

問 本年9月定例会で、「ごみステーションの設置や維持管理に伴う経費について」の質問に対し、市は「ごみステーションの市の負担を明確にするために、行政自治交付金から、ごみステーション設置の補助金を別出しするのは、大変有効であり、一つの手段である。」との答弁でしたが、その後の進捗状況は。

答 庁内協議の結果「用途の自由度」、「各区自治会の主体性の発揮」、「小規模多機能自治の推進」の観点から、補助金ではなく、現行の交付金制度で対応します。

問 ごみステーションに伴う課題は。

答 様々な苦情があり、区自治会加入者、未加入者に伴う課題も顕著になってきている。全ての地域住民が利

用できるような環境整備に努めたい。

問 必ずしも補助金対応すべきと言っている訳ではなく、ごみステーションの利用が、全ての住民にとって公平なサービスとなるよう求めているのです。

令和4年10月のアンケートで、約4割の区長さんが区自治会未加入者のごみステーション利用は認めないと答えています。これは大きな問題です。その後のように対応したのですか。

答 区自治会加入者も未加入者も公平にごみステーションが利用できるようにしていきたい。そのためには多くの課題を一つずつ解決していく必要があります。少し時間をください。代表者会議で皆さんの意見を聞き、早急に結論を出します。



新年度の予算編成に向けて



無会派 ● 加藤 貞一郎 議員

問 今後の財政運営について、お尋ねします。

答 昨今の物価上昇による経常経費の増加への対応として、計画的かつ効果的な投資的事業の実施と公共施設等総合管理計画に基づく施設の統廃合による管理経費の縮減を進めていく必要があると考えています。

問 令和5年度から中学校の学校給食費の無償化を実施されましたが小学校の無償化については、次年度以降、どのように取扱いされるのか、お尋ねします。

答 小学校の給食費無償化を行えば約1億6千万円の経常的収入を失うこととなることから急速に財政の硬直化を招くこととなり、物価高騰が続く現状において無償化を行うことは現実的ではありません。

ん。国が実施する子ども子育て世代に対する施策財源支援に注視しつつ実施時期は、見極めていきたいと考えています。

問 庁舎建設は白紙撤回されましたが、未だ見えぬ代替案の庁舎像についてお尋ねします。

答 庁舎建設に関する過去の検討結果の全てを否定してはなりません。そうした中、できる限りの施設・機能は集約化を図り、福祉や防災をはじめとする地域の協力や地域との協働が必要となるサービスは各地域へ分散化する仕組みを構築していきたいと考えていますので、こうした仕組みによる効果を最大限効率的に発揮することが可能な庁舎づくりを行っていただきたいと考えております。

一般質問



子どもの居場所づくり・道路整備について



会派 きずな ● 藤川 みゆき 議員

子ども居場所について

問 子どもの居場所の一つ、子ども食堂について当局の見解は。

答 子ども食堂は子どもたちの育ちへの支援、子どもの貧困対策や地域交流の拠点として重要な役割を果たしていただいています。子ども食堂が継続的な運営が行える仕組みの構築、また新たに支援したいという団体などの想いの芽生えを増やすこと、官民が連携し、共有を深めることが行政の担う役割として求められていると考えています。

問 子ども食堂に助成金を出している自治体もあり、予算措置に對しての当局の考え方は。

答 こどもまんなか社会の実現で、子どもの居場所、特に子ども食堂の運営に係る財源も一定用意されていると考えています。効果的に居場所の支援を行う

観点で、どのような制度設計が良いか、整理したいと考えています。

道路整備について

問 下田大谷の交差点から竜王、野洲に延びる「仮称」野洲竜王湖南広域幹線道路が県の「道路整備アクションプログラム2023」に掲載されました。進捗をお尋ねします。

答 隣接する自治体との広域連携のため、野洲・湖南・竜王総合調整協議会があり、その活動の一つとして平成21年度から要望してきました。令和3年度に可能性を再検討し、「仮称」野洲竜王湖南広域幹線道路を県道として整備するよう要望した結果、今後の道路ネットワーク整備に向けた検討路線に位置づけられました。引き続き、議論、要望活動を行っていきます。



戦没者慰霊碑（忠魂碑）の見守りについて



無会派 ● 松原 栄樹 議員

戦没者慰霊（碑）に対する市の見解は

問 戦没者慰霊（碑）に対する市の見解は

答 まず、先の大戦で亡くなられたすべての御霊に対して謹んで哀悼の誠を捧げます。市の平和に対する認識ですが、今、わたしたちが当たり前のように享受している平和と繁栄は、尊い命を捧げられた御霊のご加護と多くの悲しみや困難を乗り越えてこられたご遺族の皆さまをはじめとする先人の方々が、戦争のない平和な世の中を後世に築こうという強い願いを持ち、多大なご尽力をいただいた賜物であるという認識でございます。

問 戦没者遺族会について

答 戦後78年が経過し、ご遺族の高齢化が進み、市町村単位で解散の動きも出ており、本市遺族会も本年6月に解散されたと同っています。

市の戦没者に対する対応及び方針について

問 市の戦没者に対する対応及び方針について

答 戦争を知らない世代が大半となった中、戦争の悲惨さ、平和の尊さを次の世代に引き継ぐとともに、誰もが安心して暮らせる湖南市を未来に引き継いでいかなければならないと考えています。

問 慰霊碑（忠魂碑）の見守りについて

答 遺族会は解散されましたが、遺族会清算委員会を残しておられるとのこと、清算委員会が新たな管理者を見つけれらるか、他自治体の動きとか、戦争の悲惨さ、平和の尊さを次の世代に引き継ぐことが、今を生きる我々の課せられた責務であるとの自覚をもって、清算委員会の方と相談・協議をしながら検討したいです。

議 会 日 誌

- 【10月】** 2日—議員全員協議会
 3日—議会広報委員会
 11日—議会広報委員会
 12日—決算常任委員会
 13日—総務常任委員会
 福祉教育常任委員会
 17日—公立甲賀病院組合議会定例会
 19日—決算常任委員会
 20日—議会運営委員会
- 【11月】** 6日—議会運営委員会
 議員全員協議会
 10日—11月臨時会
 20日—議会運営委員会
 22日—議員全員協議会
 会派代表者会議
 産業経済常任委員会
 福祉教育常任委員会
 総務常任委員会
 24日—甲賀広域行政組合臨時議会
 公立甲賀病院組合臨時議会
 27日—議会運営委員会
 議会広報委員会
 29日—議員全員協議会
 本会議[12月定例会(1日目)]
- 【12月】** 6日—本会議[12月定例会(2日目)]
 議員全員協議会
 7日—本会議[12月定例会(3日目)]
 議会運営委員会
 議員全員協議会
 8日—本会議[12月定例会(4日目)]
 予算常任委員会
 11日—産業経済常任委員会
 福祉教育常任委員会
 総務常任委員会
 13日—議会改革推進特別委員会
 20日—本会議[12月定例会(5日目)]
 議会運営委員会
 議員全員協議会
 21日—議会広報委員会
 25日—甲賀広域行政組合議会
 27日—議会広報委員会

令和6年3月議会定例会の仮日程をお知らせします

開会 2月21日(水) **閉会** 3月21日(木)

<仮日程>		3月 5日(火) ~
2月21日(水)	■本会議 提案説明	3月15日(金)
2月29日(木)	■本会議 代表質問 一般質問	●委員会 3月21日(木) ■本会議
3月 1日(金)	■本会議 一般質問	委員長報告
3月 4日(月)	■本会議 一般質問	採決

◇傍聴席では…

議場は、市政全般にわたる重要な事項を決定する場です。係員(議会事務局職員)の指示に従って、静粛に傍聴することになっています。

◇傍聴の申し込みは…

会議が開かれる当日に来ていただき、「議会傍聴受付書」に住所・氏名を記入してください。座席数に限りがありますので、団体での傍聴は事前に議事課へご連絡ください。
 ※事情により日程が変更になることがあります。詳しくは、2月中旬ごろに議事課☎0748-71-2347へお問い合わせください。

編 集 議長・副議長の選任の他、各委員等の改選が本紙の記事のように決まりました。

後 記 任期の2年間頑張ってまいります。

当然のことながら、それぞれの委員会等には定数が決まっており、また、議長・副議長の席はそれぞれ1席でありますので、推挙者と希望者が重複した場合には、打ち合わせ→選挙という手順になるわけですが、その打ち合わせなどを「談合」と揶揄されました。

議会運営上正当な手順を踏んで行われました。

広報発行でも、このような誤解等のない細心の注意を払って編集してまいります。

議会広報委員長 奥村幹郎